

開倫塾の



「学習の3段階理論」



— 「理解」・「定着」・「応用」 — を身に着けよう

開倫塾

塾長 林 明夫

<はじめに>

- 「学習の3段階理論」とは、「学習を『理解』・『定着』・『応用』の3段階に分け、効果の上がる学習方法を具体的に示したものです。」
- (1) 小学校・中学校・高校はもとより、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で学ぶときにも、学校を卒業後に社会に出て仕事や社会的活動をするときにも、充実した人生を送るときにも役立つ学習方法です。
- (2) 開倫塾では、「学力」とは、自分から進んで学ぶ力、「主体的に学ぶ力」と考えます。
- (3) 開倫塾の塾生である間に、「学習の3段階理論」を活用して、「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。

<第1段階「理解」>

- 「理解」とは、「うなるほどと、よくわかること、納得すること、腑（ふ）に落ちること」です。
 - (1) 「授業中」の「理解」の方法とは、
 - ①授業中は、手を机の上に置き、先生の目と口元を見て、熱心に授業を聞くこと。
 - ②先生の指示に従い、積極的に授業に参加すること。
 - ③大切なことは、すべてノートにメモを取ること。
 - 「復習」とは、「授業で学んだことを、その日のうちに、もう一度やり直すこと」です。
 - (2) 「授業後」の「復習」での「理解」の方法とは、
 - ①教科書や教材、問題集、授業中に取ったノートなどを、もう一度読み直すこと。
 - ②計算や問題はもう一度解き直すこと。
 - ③意味のよくわからない語句や内容は、辞書や用語集、教科書、参考書で調べる。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- *「授業前の短い時間」にも、それまでに習ったことを「復習」しましょう。

<「ノート整理」をしよう>

- (1) 「ノート」は、あとで読みやすいように「ノート整理」を怠らない。
 - (2) 大切な語句や内容には「マーク（印）」をつける。定規を用いて線などで囲む。
 - (3) あとで調べたことは、余白に書き足す。余白がなければ、ポストイットや別の紙に書き足して貼り付ける。
- ※ノートは英語で notebook といいます。いろいろ工夫して、一生使える My Notebook を作り上げましょう。

- 「予習」とは、「授業の内容を予め自分の力で学習すること」です。

- (3) 「予習」での「理解」の方法とは、
 - ①意味のよくわからない語句や内容があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、教科書、参考書でよく調べる。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
 - ②計算や問題は、自分の力で、「ノート」に解いてみる。
 - ③「よくわからないところをはっきりさせてから、授業に臨む」ために行うことが、「予習」の目的です。

<おすすめ>

- (1) 「予習」の段階でも、「定着のための3大練習」（「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」）に励みましょう。
- (2) 「授業直前の短い時間」にも、その日の学習範囲を予習しましょう。



<第2段階「定着」>

- 「定着」とは、「うんなるほどと、よく『理解』できたことを確実に身に着けること」です。それには、「定着のための3大練習」が効果的です。
- (1)「音読練習」…「スラスラとよく読めるようになるまで、声に出して繰り返し読む練習をすること」。
*何も見ないでスラスラと言えるまでにする「暗誦(あんしょう)」を目指しましょう。
- (2)「書き取り練習」…「楷書(かいしょ、教科書の書体)で、書き順も含め、正確に書けるようになるまで、繰り返し書く練習をすること」。
*暗誦した内容を何も見ないで書けるまでにする「暗記」を目指しましょう。
- (3)「計算・問題練習」…「なぜそのような答えになるのかがよく『理解』できた計算や問題は、見た瞬間に条件反射で正解が出てくるまで、繰り返し同じ計算や問題を解く練習をすること」。
*条件反射で正解が出るまで、練習しましょう。

『定着のための3大練習』は、『不可能を可能』にする

<第3段階「応用」>

- 「応用」とは、「理解」「定着」した内容を用いて、
- ①「学校の定期試験などのテストで『よい点数(100点満点)』が取れること」
- ②「入学試験や国家試験、資格試験などで『合格点』が取れること」
- ③「社会で活用できること」です。
- (1)学校の定期試験などのテストで『よい点数(100点満点)』を取る方法とは、
- ①「定着のための3大練習」をやり抜くこと。
- ②出題範囲について「スミからスミまで覚える」こと。
- ③テストの1か月前から準備をすること。
- (2)入学試験や国家試験、資格試験などで『合格点』を取る方法とは、
- ①過去に出題された問題(過去問)を5~10年分、5~6回解くこと。
- ②間違えた問題は、「間違いノート」を作成すること。
- ③大切な問題は徹底研究し、「まとめノート」を作成すること。
- (3)「社会で活用する力」を身に着ける方法とは、
- ①学校で勉強するすべての教科の内容は、上級学校や社会ですべて役立ちます。一生役立ちます。
- ②学校で用いた教科書や教材、ノートは、学校を卒業後も絶対に処分しないこと。
- ③学校の授業や学生時代の勉強を思い出し、社会に出てからも一生かけて、繰り返し学び直すこと。



<「学習方法」と同時に大切なこと>

- (1)「自覚」をもって学習すること。
*特に受験生は「自分は受験生だ」という受験生としての「自覚」をもち、受験勉強に励むこと。
- (2)「読解力」を身に着けること。
- ①「辞書」を用いて「ことばの数」「語彙(ごい)数」を増やすこと。〈ことばは力〉です。
*調べた内容は意味調べノートやカードに書き写し、いつも1ページ目、1枚目から読み直し、すべて覚えましょう。
- ②「新聞」を毎日読み、「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身に着けること。
*興味のある記事は、切り取って「スクラップブック」に貼り付け、意見・感想・コメントを書いて、繰り返し読み直しましょう。
- ③「読書」を毎日行い、「思慮深さ」「省察力」を身に着けること。
*大切な語句や文章は、「書き抜き読書ノート」に書き抜き、折に触れて1ページ目から読み直しましょう。
- (3)ハードな「長時間自己学習」。

<おわりに>

- (1)「学習の3段階理論」を参考に学習方法を工夫すると、短期間でも、必ず一定の成果が出ます。
 - (2)しかし、やり通すには、「主体的に学ぶ力」と、かなりハードな「長時間自己学習」が求められます。開倫塾で、「学習の3段階理論」を活用して、自分から進んで学ぶ力、「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。
 - (3)「主体的に学ぶ力」が身に着くと、
 - ①「多様な選択肢のある人生」を歩むことができます。
 - ②「正常に機能する社会の形成」に貢献することができます。
- がんばりましょう。 以上



<開倫塾の教育目標は「自己学習能力の育成」です。>

—2017年初夏—